

登録コード	TSX33500	開講年度	2026				
授業科目	建築構造設計学演習					担当教員	諏訪田 晴彦
英文授業名	Structural Design Exercise					副担当	
単位数	4	講義期間	不定期	曜日・時限	集中・不定期	対象学生	建築学分野1年生
講義室				授業形態	演習	備考	
信大コンピテンシー 非該当							
(1)授業の達成目標		【授業で得られる「学位授与の方針」要素】				【授業の達成目標】	
		2 4 TSカリ					
		【研究科共通】環境調和社会，知識基盤社会を多様に支える高度な専門知識と実践的技術力				耐震診断基準に基づく計算ができるようになる。	
		2 6 TSカリ， 2 5 TSカリ， 2 4 TSカリ					
		【専攻】工学分野の研究者・技術者として科学・技術を発展させるための幅広い見識と健全な倫理観				耐震改修設計指針に基づく計算ができるようになる。	
		2 6 TSカリ， 2 5 TSカリ					
		【専攻】環境調和社会，知識基盤社会を多様に支える工学分野の高度な専門知識と実践的技術力				耐震診断および耐震改修の社会的意義が説明できるようになる。	
(2)授業の概要		既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断法の基本的考え方を理解し、具体的な計算方法を演習を通じて学ぶ。さらに、既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震改修設計法の基本的考え方を理解し、具体的な改修設計（補強計画および計算）を演習を通じて学ぶ。					
(3)授業計画		第1回 ガイダンス 第2回～第7回 耐震診断基準の解説 第8回～第15回 耐震診断の演習 第16回～第20回 耐震改修設計指針の解説 第21回～第29回 耐震改修設計（補強計画および計算）の演習 第30回 総括					
(4)成績評価の方法		耐震診断の演習レポート（50点満点）および耐震改修設計の演習レポート（50点満点）によって評価する。					
(5)成績評価の基準		既存鉄筋コンクリート造建物の耐震診断基準および耐震改修設計指針の基本的考え方を理解しており、耐震診断基準の第2次診断法に基づく構造耐震指標（ I_s ）の算定ができ、耐震改修設計指針に基づく補強設計ができれば「水準にある」。このうち、耐震診断計算過程における各指標値に関する総合的な理解度及び耐震改修計画の適切さと計算法の理解度に応じて「やや上にある」、「かなり上にある」、「卓越している」を評価する。					
(6)事前事後学習の内容		本授業は4単位であることから、180時間の学修が必要となる。 その内訳は授業時間60時間（2時間×30回）と自主学習時間120時間（4時間×30回）であり、ノートや参考資料を使用した自主学習を進めた上で授業に臨むこと。					
(7)履修上の注意							
(8)質問,相談への対応		原則、メールで対応する（アドレス：suwada@shinshu-u.ac.jp）。					
(9)その他							
【教科書】		指定しない。					
【参考書】		2017年改訂版 既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準 / 耐震改修設計指針・同解説、一般財団法人 日本建築防災協会、定価（本体14000円＋税）					